

海洋の覇者

～ 未来の海を守る～

24HR





12 つくる責任
つかう責任

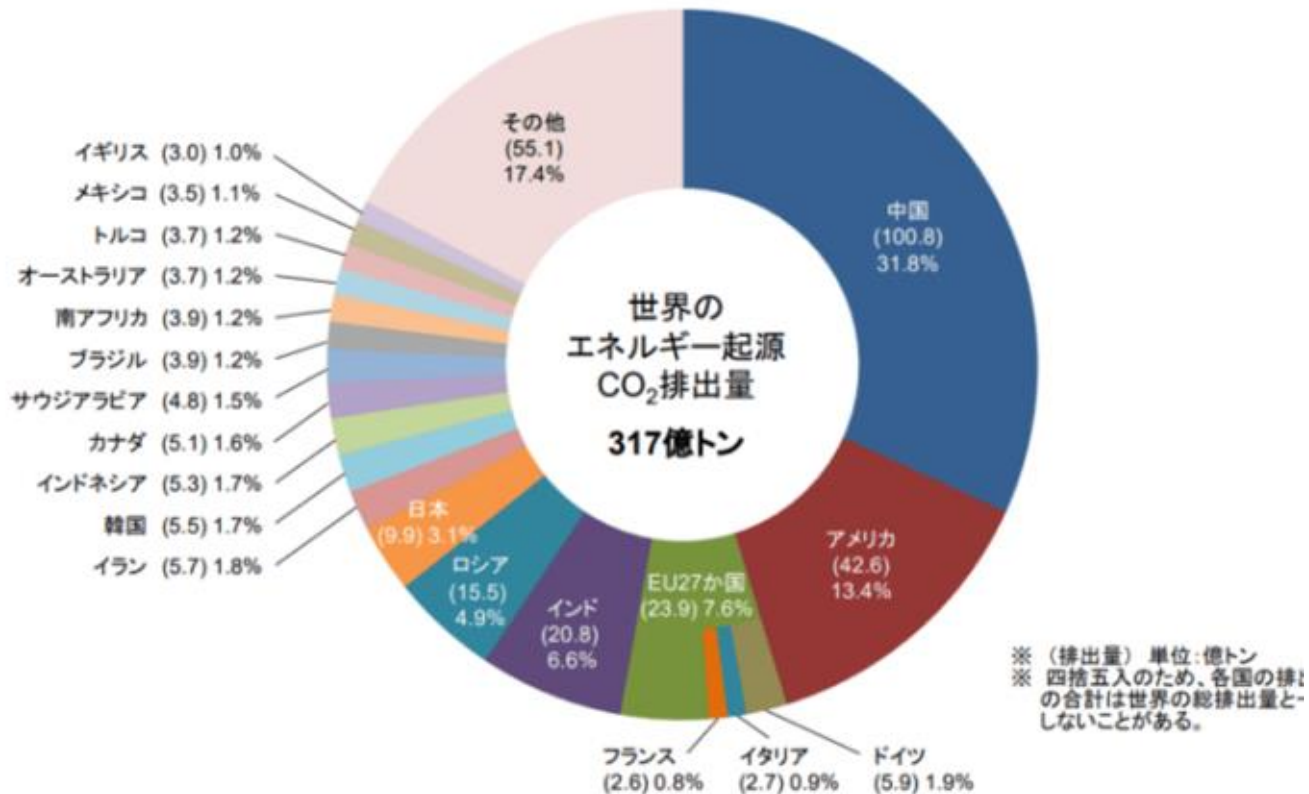


14 海の豊かさを
守ろう



Q. 廃材を利用することで
地球にどんな影響があるだろうか

世界のエネルギー起源CO₂排出量(2020年)

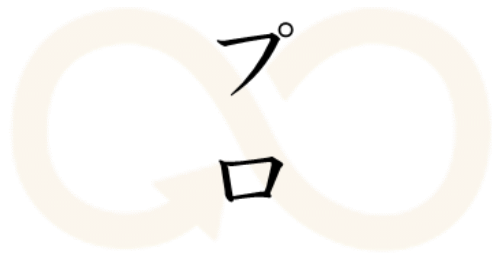


Q. 廃材を利用することで
地球にどんな影響があるだろうか

文系的
ア
プ
ロ
ー
チ

12

責任
責任



文系的アプローチ ～歴史・文化の観点から～

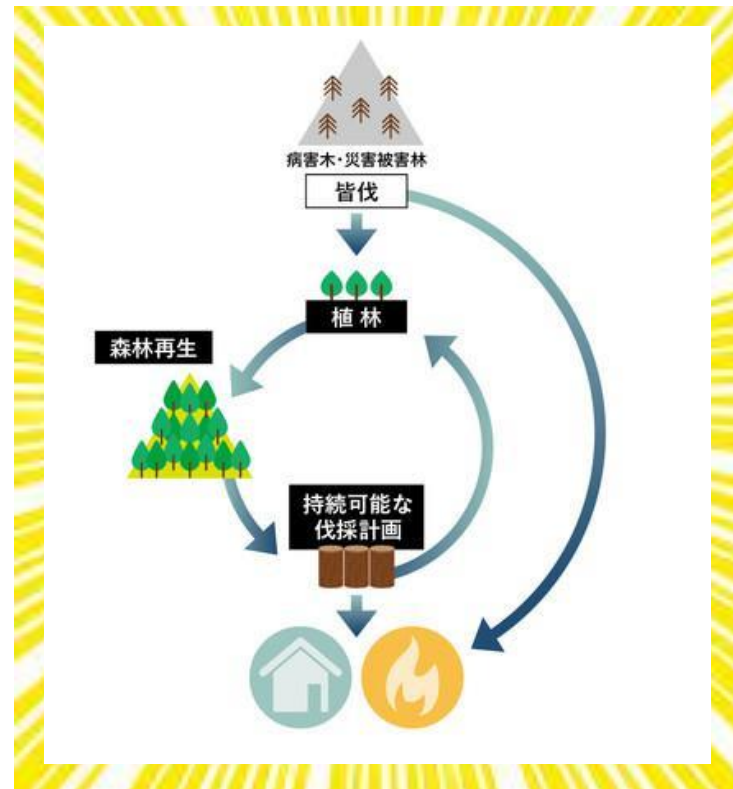
現在の傾向：森林伐採＝悪🐱

昔の日本：森林の利用と再生のバランス◎

発注した木材と廃棄予定の木材を利用



本来の日本と同じハイブリットな木材の使用を



文系的アプローチ ～行動経済学の観点から～

リサイクルを加速させる「ナッジ」を活用する

来場者数
午前約40人、午後約60人

来場者に人が環境に与える
悪影響を周知しきれなかった...



「ナッジ」の役割を果たせなかった 参考文献：行動変容を起こす有効な方法



理系的アプローチ

Scientific approaching

～理系的アプローチ～

節約した電力

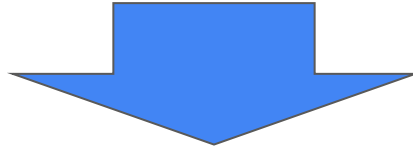
→2日間で約11600kJ!!!

使用した木材は再利用することでCO₂と電力の削減！

↓
出さなかったCO₂... **1128 kg**

杉の木80本が
一年で吸収する量
と同じ！

コースターを傾斜にした



1人当たり平均

約**970J**の位置エネルギーを獲得

理想通り出来れば
2日間で**97kJ**の
エネルギーを
運動に変換出来た

しかし人力での補助により
位置エネルギーを活かしき
れなかった

まとめ



融合

- ・ 廃材の木材の使用や電力の節約によって、「つくる責任つかう責任」を遂行できた
- ・ 「海の豊かさを守ろう」を達成するための工夫が足りなかった
- ・ もっと有効的な「ナッジ」を考える必要がある



文系

- ・ ハイブリッドな木材の使用ができた
- ・ 「ナッジ」の役割を果たすために工夫が必要だった

理系

- ・ 節約した電力 **約11600kJ**
- ・ 出さなかったCO2 **1128kg**
- ・ 賄えた位置エネルギー **約97kJ**